

山  
田  
雅  
彦  
教  
授

略  
年  
譜  
・  
業  
績  
一  
覽

# 山田雅彦教授 略年譜・業績一覧

## 経歴

- 一九五七年二月 島根県出雲市に生まれる
- 一九七六年三月 島根県立出雲高等学校理科数科卒業
- 一九七六年四月 九州大学文学部入学
- 一九八〇年三月 同大学卒業
- 一九八〇年四月 九州大学大学院文学研究科修士課程・史学専攻入学
- 一九八二年三月 同課程修了
- 一九八二年四月 九州大学大学院文学研究科博士後期課程・西洋史学専攻進学
- 一九八五年三月 同課程単位取得退学
- 一九八五年四月 日本学術振興会・奨励研究員（一九八六年三月まで）
- 一九八六年四月 福岡女子短期大学非常勤講師（同年九月まで）
- 一九八六年六月 ベルギー奨学金留学生試験合格
- 一九八六年一〇月 ベルギー国立ヘント大学 Riksmiddeleeu te Gent 留学。
- 一九八七年九月までベルギー政府奨学金留学生。その後、一九八七年十月から一九八八年三月まで私費研究生。その後、同年四月から同年九月の帰国まで日本学術振興会特別研究員の資格で在籍）
- 一九八八年四月 日本学術振興会・特別研究員（一九八九年三月まで）
- 一九八八年九月 ベルギー国立ヘント大学での研究生修了・帰国
- 一九八八年一〇月 九州帝京短期大学非常勤講師（一九八九年三月まで）
- 一九八九年四月 熊本大学文学部・講師（一九九二年三月まで）
- 一九九二年四月 同大学文学部・助教授（二〇〇〇年五月まで）
- 二〇〇〇年六月 同大学同学部・教授（二〇〇三年三月まで）
- 二〇〇一年七月 九州大学・博士（文学）
- 二〇〇三年四月 熊本大学教育機能開発総合研究センター・教授（二〇〇六年三月まで）

- 二〇〇六年四月 京都女子大学文学部・教授（二〇二三年三月まで）
- 二〇一五年四月 京都女子大学文学部長（二〇一八年三月まで）
- 二〇一六年四月 京都女子学園常任理事（二〇一八年三月まで）
- 二〇一八年四月 大阪大学研修員（京都女子大学国内研修員制度による、同年九月まで）
- 二〇一九年四月 京都女子大学大学院文学研究科委員長（二〇二二年三月まで）
- 二〇二三年三月 京都女子大学定年退職
- \*一九八九年四月以降（熊本大学着任後）に授業を担当した非常勤講師先
  - 一九九一年四月 福岡大学（商学部）（同年九月まで）
  - 一九九二年四月 熊本短期大学（一九九六年三月まで）
  - 一九九五年四月 鹿児島大学（法文学部）（同年九月まで、夏季集中）
  - 一九九五年四月 熊本県立大学（総合管理学部）（一九九六年九月まで）
  - 一九九六年四月 熊本学園大学（商学部）（同年九月まで）
  - 一九九七年四月 熊本県立大学（総合管理学部）（同年九月まで）
  - 一九九七年四月 九州大学（文学部）（一九九八年九月まで）
  - 一九九八年四月 熊本県立大学（総合管理学部）（同年九月まで）
  - 二〇〇〇年一〇月 大阪大学（文学部）（二〇〇一年三月まで、冬季集中）
  - 二〇〇七年四月 奈良女子大学（文学部）（同年九月まで）
  - 二〇〇七年一〇月 大阪大学（文学部）（二〇〇八年九月まで）
  - 二〇〇八年四月 熊本大学（教育学部）（同年九月まで、夏季集中）
  - 二〇〇九年九月 京都大学（文学部）（二〇一〇年三月まで）
  - 二〇一〇年一〇月 関西学院大学（文学部）（二〇一一年三月まで）
  - 二〇一九年四月 京都大学（文学部）（同年九月まで）
  - 二〇二二年四月 熊本大学（文学部）（同年九月まで、夏季集中）

【著書】

1. 単著

『中世フランドル都市の生成—在地社会と商品流通—』ミネルヴァ書房、二〇〇一年五月。

『中世北フランス・バボーム通過税の形成・展開と地域における社会的合意』

熊本大学（平成一六年度科研費研究成果報告書）、二〇〇五年三月。

『西欧中世都市の食糧品市場に見る制度化と非制度化の相関—サン・トメールの事例研究—』京都女子大学（平成一七—一九年度科学研究費補助金研究報告書）、二〇〇八年五月。

2. 編著

『伝統ヨーロッパとその周辺の市場の歴史』（シリーズ『市場と流通の社会史』第一巻）清文堂出版、二〇一〇年十二月（全編編集作業、並びに索引作成を担当。序章「ヨーロッパとその周辺を対象とした市場と流通の『社会史』—本巻のねらい—」（三—一四頁）と第一章「カロリング朝フランク帝国の市場と流通—統一王朝時代を中心に—」（一五—四四頁）を執筆）。

3. 共著（共同研究による科研報告書類は共著とは扱わず、それらに収録された論考は、次の論説欄で別に掲載した。）  
森本芳樹編『西欧中世における都市—農村関係の研究』九州大学出版会、一九八六年（論文「13世紀初頭の流通税表に見るサンスの流通構造—シヤンパーニュー大都市近接地域における都市と農村—」（二六一—三〇九頁）を寄稿）。

J.-M. Duvoisquel et A. Dierkens (eds.), *Villes et campagnes au moyen âge. Mélanges G. Despy*, Liège, Ed. du Perron, 1991 juin (仏語論文) \* Le mouvement des foires en Flandre avant 1200 \* (pp. 773-789) を寄稿。  
江川温・服部良久共編『西欧中世史（中）—成長と飽和—』ミネルヴァ書房、一九九五年一月（第五章「市と交易」（一五一—一七三頁）を寄稿）。  
佐藤次高・岸本美緒編『市場の地域史（地域の世界史9）』山川出版社、一九九九年六月（第二章「ヨーロッパの都市と市場」（五三—八九頁）を寄稿）。  
中村勝責任編集『市と糶（セリ）』中央印刷出版部、一九九九年八月（論文「中世中期フランドル伯領における魚介流通—流通税表を素材としてみた

スヘルデ河流域部のニシン流通を中心に—」（二六七—三八四頁）を寄稿）。  
佐藤彰一・高山博・池上俊一共編『西洋中世史研究入門』名古屋大学出版会、二〇〇〇年四月（第九章「市場と交換（上）—市場地の形成と中世初期・盛期の交易—」（一五〇—一五四頁、三五三—三五五頁）を担当）。

西洋中世史研究会編『西洋中世史料集』東京大学出版会、二〇〇〇年五月（「農村支配の緩和」（二〇三—二〇五頁）及び「在地の市場」（二〇八—二〇九頁）で五点の史料を翻訳紹介）。

田北廣道・藤井美男編『ヨーロッパ中世世界の動態像—史料と理論の対話—』（森本芳樹先生古稀記念論集）九州大学出版会、二〇〇四年三月（論文「13世紀後半サン・トメールのバボーム通過税免除特権をめぐる一考察—ある例外の背景とその波紋—」（四七五—四九六頁）を寄稿）

高山博・池上俊一共編『西洋中世学入門』東京大学出版会、二〇〇五年十一月（第五章「度量衡学」（九一—一〇三頁）を担当）。

服部良久・江川温・山辺規子共編『大学で学ぶ西洋史—古代・中世編—』ミネルヴァ書房、二〇〇六年八月（第二部第四章第三節「都市・商業・市」（二二—二四三頁）を担当）。

斯波照雄・玉木俊明編『北海・バルト海の商業世界』悠書館、二〇一五年六月（第七章「フランドルとハンザ、そしてフランスとハンザーブルツへの浮沈をめぐる一つの物語」（二一七—二五六頁）を寄稿）。

服部良久編『コミュニケーションから読む中世ヨーロッパ史—紛争と秩序のタペストリー—』ミネルヴァ書房、二〇一五年十月（論文「なぜバボームの通過税を支払わねばならないのか—一三—一四世紀北フランスの都市と王権の係争—」（三四四—三六七頁）を寄稿）。

金澤周作編『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、二〇一〇年四月（「ピレンヌ・テーゼ」（七二—七三頁）を担当）。

春田直紀・新井由紀夫・David Roffe 編『歴史的世界へのアプローチ—刀水書房、二〇二一年十二月（論文「11・12世紀北フランスの貨幣と地域秩序—コルビー修道院の造幣活動を通して—」（二九四—三二六頁）を寄稿）。

コルビー修道院の造幣活動を通して—」（二九四—三二六頁）を寄稿）。

## 【論説(論文・研究ノート・研究動向)】

- 「中世都市トロワの発展と地域流通」『西洋史学論集』(九州西洋史学会) 二二二号、一九八四年十月、一七〇～一七三頁。
- 「ジャンパーニユの初期年市をめぐる諸問題」『西洋史学』(日本西洋史学会) 一三六号、一九八五年三月、三四〇～三五三頁。
- 「北フランス中世盛期の都市・農村関係に関する研究―一九六〇年以降のフランス学界―」『史学雑誌』(史学会) 九五巻一、一九八六年一月、六二〇～六八頁。
- 「西欧中世都市の起源と年市―A・ロンパール・ジュルダンの最近の業績をめぐって―」『市場史研究』(市場史研究会) 二、一九八八年三月、八一～九三頁。
- 「フランドル年市初期史の再構成に向けて―研究史とヘントの事例研究―」『市場史研究』(市場史研究会) 六、一九八九年六月、一〇〇～一〇七頁。
- 「中世サン・トメールの流通税表―層位学的考察の試み―(上)」『文学部論叢』(熊本大学文学会) 三三三、一九九〇年十月、一〇五～一三〇頁。
- 「中世フランドルの小都市メーセンの発展と年市」『比較都市史研究』(比較都市史研究会) 九巻二、一九九〇年十二月、一三〇～一三七頁。
- 「中世都市ヘントの流通地理―流通税表が語る都市史―」『市場史研究』(市場史研究会) 九、一九九一年六月、一〇二～一〇八頁。
- 「中世サン・トメールの流通税表―層位学的考察の試み―(下)」『文学部論叢』(熊本大学文学会) 三七七、一九九一年十二月、二二九～二五八頁。
- 「フランドルの都市イーブルの起源をめぐって―A・フェルヒュルストの所説にいたる研究史―」『西洋史学論集』(九州西洋史学会) 二九号、一九九一年十二月、一五〇～二八頁。
- 「西欧中世市場論のための一覚書―メリーシユル・セーヌの市場譲渡に関する一七七年文書をめぐって―」『文学部論叢』(熊本大学文学会) 四五号、一九九四年二月、九四～一〇五頁。
- 「封建期北フランスの市場・都市・農村―総合化の試み―」『市場史研究』(市場史研究会) 一四号、一九九五年三月、一六〇～二八頁。
- 「二世紀後半フランドルにおける「新港」の社会経済史的意義―グラグリーヌ港、達設をめぐる議論の進展を追って―」『文学部論叢』(熊本大学文学会) 五三、一九九六年三月、四五～七四頁。
- 「13世紀バボームの通過税―制度変容の社会史のための一試論―」『西洋史学論集』(九州西洋史学会) 三四号、一九九六年十二月、二八〇～二八五頁。
- 「中世中期における市場と権力―12世紀フランドル伯領を中心に―」『社会経済史学』(社会経済史学会) 六三巻二、一九九七年七月、三三〇～三五五頁。
- 「安全護送権と封建制の定立―12世紀フランス王領における王権と領主権を中心に―」『文学部論叢』(熊本大学文学会) 六五号、一九九九年三月、五二〇～五三〇頁。
- 「12世紀フランドル伯領北部の農業生産実態について―飢饉に関するガルベール・ド・ブリュージュのテキストと学界論争―」工藤敬一編『日本中世・近世における生産力表示の系統的把握のための基礎的研究(科学研究費補助金研究報告書)』熊本大学、一九九九年三月、一三三～一五四頁。
- 「問題提起、ヨーロッパ中世市場研究と「市場経済」概念―農村市場研究の特集に寄せて―」『市場史研究』(市場史研究会) 二〇号、二〇〇〇年十二月、一〇二～一二頁。
- 「ヨーロッパ中世の市場と権力の関係―フランドル報告論文集を中心とする比較史的再論―」『市場史研究』(市場史研究会) 二〇号、二〇〇〇年十二月、一九〇～一九九頁。
- 「中世ヨーロッパの地域・市場・権力―フランドル伯領の諸地域経済圏を中心に―」『歴史科学』(大阪歴史科学協議会) 一六八号、二〇〇二年四月、一七〇～二八頁。
- 「合評会、山田雅彦『中世フランドル都市の生成―在地社会と商品流通―』をめぐって」『西洋史学論集』(九州西洋史学会) 四〇号、二〇〇二年十二月、一三三～一三九頁(城戸照子「商品流通から見た中世都市ネットワーク論の可能性」、堀越宏二「総括コメント」を受けての返答)。
- 「中世北フランスにおける都市付属領域の形成―アラスの事例を中心に―」『文学部論叢』(熊本大学文学部) 七八号、二〇〇三年三月、一一〇～一二二頁。
- 「中世フランドル南部におけるワイン・ステープルの歴史的意义―13世紀サン・トメールの都市条令を素材として―」『法文化叢書』(法文化学会) 二二号、二〇〇三年三月、三九～六二頁。
- 「二〇〇二年度の歴史学界、回顧と展望―西欧中世―」『史学雑誌』(史学会)

一一二巻五号、二〇〇三年五月、三二五～三三四頁。

「シンポジウム・変貌する西欧中世の世界像」『九州歴史科学（九州歴史科学研究会）、三一号、八五～九三頁（花田洋一郎、森本芳樹、藤井美男との共著、「十三世紀サン・トメールにおけるワイン・ステープル市場をめぐる統制変化と西欧中世史の新論点」を寄稿）。

「The Fourth Text of Peage de Bapaume at Saint-Omer (ASO ABXVIII 15)」, *The Anglo-Norman Anonymous*, Vol. 22, Nr. 3, 2004 October p. 3.

「14世紀前半バボーム通過税免除をめぐるアミアン市の提訴とその法的処理―フランス王国における「王権的地域」の生成の例―」吉村豊雄・木下尚子編『世界的文化資源集積と文化資源科学の構築（熊本大学平成一六年度拠点形成研究（B）研究成果報告書）』熊本大学、第一巻、二〇〇五年三月、一五八～一八三頁。

「シンポジウム報告：西欧中・近世における国家の統治構造と機能」『西洋史学論集』（九州西洋史学会）四三号、二〇〇五年十二月、九三～九八頁（藤井美男、工藤則光、正本忍との共著、うち小論「西欧中世都市における日常生活の文書管理とその法的・社会的意味―北仏・ネーデルラント諸都市の非訟事項業務を中心に―」を分担）。

「The Literal Administration of "peage de Bapaume" under the French Crown and Some Towns, 1200-1400: What a new-found text of Saint-Omer tells us?」, *The Haskins Society Journal Japan. Studies in Medieval History*, Vol. 1, 2005 December. pp. 39-48

「中世北フランス・ネーデルラントにおける都市当局による私法行為に関わる文書業務の拡大とその歴史的意義―ドゥエの事例を中心に―」神寶秀夫編『西欧中・近世における国家の統治構造と機能（科学研究費補助金研究報告書）』九州大学、二〇〇六年三月、四四～五二頁。

「中世都市サン・トメールにおける水産物流通と都市当局―制度としての公開市場の鍛錬―」『市場史研究』（市場史研究会）二六号、二〇〇六年十二月、三九～五九頁。

「小シンポジウム「中世社会経済史研究と史料論」によせて―到達点と今後への期待―」岡崎敦編『西欧中世比較史料論―科学研究費補助金研究・平成一八年度年研究成果報告書』九州大学、二〇〇七年三月、一一八～一二一

頁。

「中世中期サン・トメールの市場をめぐる自由と規制―十三世紀ワイン・ステープル市場再論―」『史窓』（京都女子大学史学会）、六五号、二〇〇八年二月、三三～五八頁。

「中世都市の文書管理―北フランス・ネーデルランドの諸事例に見る―」岡崎敦編『西欧中世文書の資料論的研究―平成二〇年度研究成果年次報告書』九州大学、二〇〇九年三月、二五～三九頁。

「中世盛期・後期都市文書とその個性的理解の必要性―北フランスの諸事例も踏まえて―」岡崎敦編『西欧中世文書の資料論的研究―平成二二年度研究成果年次報告書』九州大学、二〇一〇年三月、八〇～八三頁。

「特集シンポジウム報告：西洋中世盛期・後期における宮廷とコミュニケーション」『西洋史学論集』（九州西洋史学会）四八号、二〇一〇年十二月、一五九～一六五頁（服部良久、藤井真生、中堀博との共著、コメントを担当）。

「中世後期アミアンにおける契約登記簿の誕生―都市自治体による非訟裁判権（Jurisdiction gracieuse）の行使を軸として―」『史窓』（京都女子大学史学会）、六八号、二〇一一年二月、四二～四四頁。

「コミュニティ成立期アミアンにおける司教権力と都市共同体の協同―空間的聖性の演出と受容をめぐる予備的考察―」服部良久編『平成二一・二二年度科学研究費補助金基盤研究（A）成果報告書』京都大学、二〇一一年三月、一五八～一六四頁。

「中世都市アミアンの非訟裁判権（Jurisdiction gracieuse）に関する記録―シログラフから契約登記簿まで―」岡崎敦編『西欧中世文書の資料論的研究―平成二二年度研究成果年次報告書』九州大学、二〇一一年三月、四九～六七頁。

「中世後期都市史研究の現状と都市文書研究の展開―北フランスを中心に―」岡崎敦編『西欧中世文書の資料論的研究―平成二三年度研究成果年次報告書』九州大学、二〇一二年三月、九〇～九八頁。

「中世盛期・後期西ヨーロッパの「市場」をめぐる諸問題―一九九〇年代以降の欧米学界を中心に―」『史窓』（京都女子大学史学会）、七〇号、二〇一三年二月、一二五～一五四頁。

「九州における西洋中世史研究の歩み」『西洋史学論集』（九州西洋史学会）五〇号、二〇一三年三月、一三三～一三三頁。

「カントヴィック研究の過去と現在―地方誌と国際交易史の混在から総合的領域史研究へ―」『日仏歴史学会会報』二八号、二〇一三年六月、五一～五三頁。

「カントヴィック研究の過去と現在（上）―ドントによる問題の整理と継承―」『史窓』（京都女子大学史学会）、七二号、二〇一五年二月、三九～六一頁。

「特集シンポジウム報告・バイユーの綴織（タベストリー）の世界」『西洋史学論集』（九州西洋史学会）五五号、二〇一八年三月、一～二七頁（小澤実、山辺規子、森貴子、保立道久、鶴島博和との共著、「シンポジウム概要」（一～三頁）の箇所を担当）。

「中世初期コルビー修道院（北フランス）の貨幣―構築された貨幣史のもつれ―」『史窓』（京都女子大学史学会）七六号、二〇一九年三月、一一七～一三六頁。

「10・11世紀アミアン（北フランス）の貨幣―最近の埋蔵発掘成果をふまえて―」鶴島博和編『前近代ユーラシア西部における貨幣と流通のシステムの構造と展開』熊本大学科研費報告書、三／四号、二〇二〇年二月、一七二～一七六頁。

「市場は国王大権にあらざるなる―中世初期フランク王権の市場と貨幣の比較から―」『史窓』（京都女子大学史学会）七八号、二〇二二年三月、一〇一～一三三頁。

「中世中期フランス王国の「市場権」形成史―造幣権との比較を通して―」『京都女子大学大学院文学研究科・研究紀要（史学編）』二〇号、二〇二二年三月、一～二六頁。

【書評・新刊紹介類】

「新刊紹介、S・キユルベイエ著『ダンケルク、中世末フランドルの港町―一三五八年―』一四〇七年のバイイ会計簿を通してみたる（仏書）』『日仏歴史学会会報』七号、一九九〇年十二月、三～四頁。

「書評、斎藤綱子著『西欧中世慣習法文書の研究』九州大学出版会」『社会経

済史学』（社会経済史学会）五八巻五号、一九九三年一月、一四三～一四七頁。

「書評、比較都市史研究会編著『都市と共同体（上）（下）』名著出版」『市場史研究』（市場史研究会）一二号、一九九三年六月、九八～一〇三頁。

「書評、阿部謹也『ヨーロッパを読む』―中世人の生きざま主題に―」『熊本日日新聞』一九九五年十二月二十四日。

「書評、レジーヌ・ベルヌー、ロベール・ドラトゥーシユ、ジャン・ギャンベル共著、福本直之訳・樺山紘一解説『産業』の根源と未来―中世ヨーロッパからの発信―』農文協『市場史研究』（市場史研究会）一六号、一九九六年十一月、一六七～一六九頁。

「書評、近藤晃著『市場経済の史的構造―イギリス市場史研究序説―』未来社」『社会経済史学』（社会経済史学会）六二巻六号、一九九七年三月、一七～二二頁。

「論評、ヨーロッパにおける異人欲待と共同体型公共社会の歴史性」バイヤー著（岩井隆夫訳）『異人欲待の歴史』を読む」『市場史研究』（市場史研究会）一七号、一九九七年十一月、八二～九二頁。

「書評、シャルル・プティイデユタイイ著、高橋清徳訳・解説『西洋中世のコミューン』創文社」『法制史研究』（法制史学会）四九号、一九九九年三月、二八五～二八九頁。

「書評、河原温著『中世フランドルの都市と社会・慈善の社会史』中央大学出版部」『日蘭学会会誌』二六巻二号、二〇〇二年三月、六五～七〇頁。

「書評、アドリアーン・フルヒユルスト著、森本芳樹・藤本太美子・森貴子共訳『中世都市の形成―北西ヨーロッパ―』岩波書店」『社会経済史学』（社会経済史学会）六八巻一号、二〇〇二年五月、一一四～一一六頁。

「書評、丹下栄著『中世初期の所領経済と市場』創文社」『歴史学研究』（歴史学研究会）七九一号、二〇〇四年八月、五三～五六頁。

「書評、ポール・ギシヨネ著、内田日出海・尾崎麻弥子訳『スイス・フランス国境の政治経済史』―フリー・ゾーンの複雑な背景』『熊本日日新聞』二〇〇五年六月十九日。

「書評、藤井美男著『ブルゴーニュ国家とブリュッセル―財政をめぐる形成期近代国家と中世都市―』『社会経済史学』（社会経済史学会）七五巻一号、

二〇一〇年五月、一〇〇～一〇二頁。

「新刊紹介『Lombard, Jourdan, Anne, Les Halles de Paris et leur quartier (1137-1969), Paris, 2009』、『西洋中世研究』(西洋中世学会)二号、二〇一〇年十二月、二〇六頁。

「新刊紹介『Van Bavel, Bas, *Manors and Markets: Economy and Society in the Low Countries, 500-1600*, Oxford/New York, 2010』、『西洋中世研究』(西洋中世学会)二号、二〇一〇年十二月、二二八～二二九頁。

「新刊紹介『A. Willemsen and H. Kik (eds), *Dorestad in an International Framework. New Research on Centres of Trade and Coinage in Carolingian Times*, Brepols, 2010』、『西洋中世研究』(西洋中世学会)三号、二〇一一年十二月、二二三～二二四頁。

「書評、佐藤公美著『中世イタリアの地域と国家―紛争と平和の政治社会史―』、『西洋史学論集』(九州西洋史学会)、五一号、二〇一四年三月、三七～四〇頁。

「書評、田村愛理・川名隆史・内田日出海編『国家の周縁―特権・ネットワーク・共生の比較社会史―』、『マイノリティー活用する権力』、『熊本日日新聞』二〇一五年十月十八日。

「新刊紹介、フィリップ・ドランジエ著、高橋理監訳、奥村優子・小澤実・小野寺利行・柏倉知秀・高橋陽子・谷澤毅共訳『ハンザ―12～17世紀―』、『西洋史学論集』(九州西洋史学会)五五号、二〇一八年三月、七九～八二頁。

「書評、川分圭子・玉木俊明編著『商業と異文化の接触―中世後期から近代におけるヨーロッパ国際商業の生成と展開―』、『史学雑誌』(史学会)一二七巻二一号、二〇一八年十一月、七四～八三頁。

「新刊紹介、渡辺節夫著『国王証書とフランス王権』(知泉学術叢書一九)知泉書館、『西洋史学論集』(九州西洋史学会)六〇号、二〇一三年三月、九五～九八頁。

#### 【翻訳(共訳書、ならびに単訳論文)】

デュビイ他著、森本芳樹編、山田を含む七人による共訳『西欧中世における都市と農村』九州大学出版会、一九八七年一月(ジャン・シュネイデル著

「フランス王国におけるフランシス文書の起源―十一～十二世紀―」(二二三～一六三頁)の翻訳担当。

アラン・デルヴィル著『中世ノール地方における都市と農村』、『市場史研究』(市場史研究会)一五号、一九九五年十一月、九八～一二四頁。

アラン・デルヴィル著『資本主義の誕生』、『文学部論叢』(熊本大学文学会)五七号、一九九七年三月、一〇一～一二六頁。

アンドレ・ジョリス著、瀬原義生監訳、山田を含む四人による共訳『地域からみたヨーロッパ中世―中世ベルギーの都市・商業・心性』、『ミネルヴァ書房』二〇〇四年一月(第五章「中世ムーズ地方の都市と商業」(九七～一二二頁)、第六章「十三世紀後半ナミュール伯領の大青圧搾機」(一二三～一五四頁))を担当、並びに索引作成を担当。

バースタック・ボンバイチット&クリス・ベーカー共著、北原淳・野崎明監訳、日タイセミナー訳『タイ国―近代の経済と政治』、『刀水書房』二〇〇六年十一月(第二部「都市」第三章「貿易商・徴税請負人・国王」(一三五～一六〇頁))を担当。

白井佐知子他編『契約と紛争の比較史料学―中近世における社会秩序と文書―』吉川弘文館、二〇一四年十二月(トマ・フルネール著「中世北西ヨーロッパにおける都市当局の公証制度」(三二七～三三二頁)の翻訳担当)。

#### 【辞典類】

『歴史学辞典、第一巻、交換と消費』弘文堂、一九九四年一月(「局地的市場圏」の項目を担当)。

『歴史学辞典、第一三巻、所有と生産』弘文堂、二〇〇六年一月(「領主(西欧の)」「農奴制」「所領明細帳」の項目を担当)

#### 【その他】

「一九九二年度都市史研究国際委員会 The International Commission for the History of Towns, Arphen-aan-de-Rijn, 6-10, September, 1992」『比較都市史研究』一一巻二号、一九九二年十二月、六四～六五頁。

「昨今の西洋史研究を見て―奇妙な解放―」『武夫原』(熊本大学同窓会誌)三三号、一九九五年三月、五～六頁。

- 「王妃マルゴ―宮廷取り巻く「闇」と快楽―（映画評ムービーシヤッフル）」  
『熊本日日新聞夕刊』一九九五年六月七日。
- 「ラテン」「ゲルマン」の接点―異文化が培うベルギー―」『熊本日日新聞』二〇〇二年五月一〇日。
- 「熊本―都市建築の現状から思う―」『環―歴史・環境・文明』一七号（特集「都市とは何か」、藤原書店、二〇〇四年四月、三〇六―三〇七頁）。
- 「21世紀熊本大学教養教育プログラムの構築と今後の課題―教育目標の明示と主題科目Ⅰ・Ⅱの設置を中心に―」『大学教育年報』（熊本大学大学教育機能開発総合研究センター）七号、二〇〇四年三月、五―一七頁。
- 「熊本大学「21世紀教養教育」と西洋史系教養科目授業実践の試み―授業到達目標の設定とその実質化に向けて―」九州地区大学一般教育研究会・第五三回九州地区大学一般教育研究協議会議事録』二〇〇五年三月、一五二―一五九頁。
- 「教養教育における総合系および学際系科目の調整と今後の在り方」熊本大学大学教育機能開発総合研究センター編『教育研究改革・改善プロジェクト（学長裁量経費）研究成果報告書』、二〇〇六年三月、七九―一二二頁。
- 「西欧前近代社会の無秩序と秩序」「道標」一四号、二〇〇六年十月、二八―四七頁。
- 「昨今の大学教育と歴史学―史学で西洋史を講じるものとして―」『道標』二七号、二〇〇九年十二月、二―三六頁。
- 「貴重書紹介―川口文庫の誕生」『京都女子大学通信』一〇一―一〇二号、二〇一一年六月、九―一〇頁。
- 「歴史よもやま話④中世北フランスの都市文書に誘われて」『芬陀利華』（京都女子大学宗教部）三四〇号、二〇一四年九月十二日、一面。
- 「ブラウ兄弟『大地図帳』第一〇巻、アジアの部、一六六二年、アムステルダム刊」『京女一〇〇年の至宝』展』二〇二〇年十月。
- 「ラテン語説教写本断簡、一一五〇年頃イタリヤ、最新収蔵書」『京女一〇〇年の至宝』展』二〇二〇年十月（大黒俊二氏との共著）。
- 「研究も人生も「偶然」をどう活かすか」『芬陀利華』（京都女子大学宗教部）三九六号、二〇二三年九月十二日、二面。

【学会発表・研究会報告】（二〇〇六年四月の京都女子大学着任以後の主要なものに限り、さらに科研費による共同研究の際の個別研究報告等ここでは割愛した。）

- 「中世社会経済史研究」と史料論に関して」九州史学会二〇〇六年度大会、九州大学、二〇〇六年十二月十日。
- 「Medieval Market Activities under Urban Governmental Control? : In the Light of a Town-Register of Saint-Omer during the 13th Century」二〇〇七年国際中世史研究学会、イギリス・リーズ大学（International Medieval Congress 2007, Leeds）、二〇〇七年七月九日。
- 「中世中期フランス都市における市場の統制と商業の自由―サン・トメール市の事例から―」関西中世史研究会二〇〇七年十二月例会、京都大学、二〇〇七年十二月十五日。
- 「中世中期西欧都市による文書管理の多様性―北フランス・低地諸地方を中心に―」西欧中世史料論研究会第四一回例会、九州大学、二〇〇八年七月六日。
- 「13―14世紀のパボーム通過税と北フランス都市―コミュニケーションのなかの通過税―」関西中世史研究会二〇〇九年度三月例会、京都大学、二〇〇九年三月二十日。
- 「シンポジウムコメント「ブルゴーニュ国家における財政システムの形成」をめぐって―中世中期北フランス・フランドル都市史の立場から―」社会経済史学会第79回全国大会、関西学院大学、二〇一〇年六月二十日。
- 「シンポジウムコメント「西洋中世盛期・後期における宮廷とコミュニケーション」」九州西洋史学会二〇一〇年度秋季大会、九州大学、二〇一〇年十月十六日。
- 「ヨーロッパ中世盛期・後期の「市場」史の現状と課題」第57回市場史研究会大会、京都女子大学「校舎」、二〇一二年六月二十三日。
- 「中世西欧の初期都市法の関心―市場の自由―それとももっと日常の平和を！―」関西比較都市史研究会、大阪市立大学文化交流センター（大阪駅前第二ビル六階）、二〇一二年七月二十七日。
- 「九州における西洋中世研究の歩み」九州西洋史学会二〇一二年度秋季大会、福岡大学、二〇一二年十月二十七日。



「中世北フランス都市の公証業務と非訟裁判権」九〇一九世紀文書史料の多元的複眼的比較研究、二〇一三年度国際シンポジウムに向けた準備研究会、国文学資料館、二〇一二年十二月二十二日。

「カントヴィック研究の過去と現在―地方誌と国際交易史の混在から総合的地域史研究へ―」日仏歴史学会第四回研究大会、関西学院大学、二〇一三年三月二十八日。

「中近世ハンザ空間と市場、趣旨説明とまとめ」第六〇回市場史研究会、ならびに日本ハンザ史研究会二〇一三年度十二月例会の合同研究会、中央大学、二〇一三年十二月七日。

「13〜14世紀のパボーム通過税と北フランス―コミュニケーションの中の通過税―」科学研究費補助金研究（基盤研究A）「西欧中近世のコミュニケーションと秩序」最終研究会、京都大学、二〇一四年三月十六日。

「フランドルとハンザ、フランスとハンザ―ブルッヘの浮沈をめぐるハンザ商業の動静―」日本ハンザ史研究会二〇一四年度六月例会、中央大学、二〇一四年六月二十八日。

「コメント、レッセフェールの市場経済社会の歴史的再検討―ヨーロッパ中世史の最近の研究から―」九州西洋史学会二〇一四年度秋季大会、熊本大学、二〇一四年十一月二十九日。

「10・11世紀フランス王国北部における貨幣発給―カントヴィック貨とコルビー貨の事例を中心に―」第26回関西比較都市史研究会、大阪市立大学文化交流センター（大阪駅前第二ビル六階）、二〇一六年十月二十九日。

「11・12世紀北フランスの貨幣と地域秩序―コルビー修道院の造幣活動を中心に―」大阪大学グローバルヒストリー・セミナー研究会、大阪大学豊中キャンパス、二〇一八年七月十三日。

「12世紀以前の西欧中世諸権力と市場―市場は国王大権に属するような権利なのだろうか―」二〇一八年度市場史研究会大会、福井県立大学（福井市地域交流プラザ）、二〇一八年十一月三日。

「中世ヨーロッパにおけるデナリウス銀貨の世界―社会が求め、社会が作り出せる貨幣の形―シンポジウム・ワークショップ パネル（公募）」日本西洋史学会第六九回大会、静岡大学、「シンポジウム企画趣旨説明」と「十一・十二世紀北フランスの小額貨幣の存在理由―コルビー貨の分析を中心に

―」のパネル報告を担当、二〇一九年五月十九日。